

# 福祉課題解決の「イノベーション事業」 に有効な形成的評価の方法とは

～実践家参画型エンパワメント評価：  
CD-TEP法の意義と特色、適用範囲を考える～

■日時 2020 3/22 (SUN)  
15:00～(18:00終了予定)

■プログラム 《第Ⅰ部 公開シンポジウム》  
シンポジスト:大島巖氏(日本社会事業大学教授),  
源由理子氏(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授),  
清水潤子氏(日本ファンドレイジング協会),  
新藤健太氏(群馬医療福祉大学助教),  
山野則子氏(大阪府立大学教授)

《第Ⅱ部 「実践家参画型エンパワメント評価の理論と  
方法」出版記念交流会  
※18:30～20:00(参加希望者のみ)を予定

■場所 AP品川会議室7F(品川駅高輪口3分)  
(東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル7階)

■参加費 無料

詳細／お申込／お問合せ  
<http://bit.do/fsTFY>



主催:文部科研・参画型エンパワメント評価  
を活用した有効なEBP技術支援センター  
モデル構築研究班(代表:大島巖)

共催:日本ソーシャルワーク学会共同研究  
「実践家と協働で進める効果的福祉実践  
プログラムモデル形成評価」研究会

